

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球!



須磨区のために真剣です。

神戸市会議員(須磨区) 神戸市 監査委員

大井としひろ

神戸市監査委員に就任しました。



※最新の活動報告は「おーいブログ」でチェック!!

大井としひろ

検索



■大井としひろのTwitter(ツイッター) KOBE_SUMA_001

東北地方太平洋沖地震で被災されました皆様に謹んで心からお見舞い申し上げます。一刻も早く、この苦難を乗り越えて、復旧・復興されますことを心よりお祈り申し上げます。

皆様、いつもお世話になります。暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。熱中症など、お体に気をつけて、健康にご留意ください。

6月13日が、神戸市会の新しい期のスタートとなりました。私にとっても3期目の議員活動がスタートとしました。身の引き締まる思いです。初心忘れず、「市民の生活が一番」の信念で地域に根ざした地道な活動に汗をかき、市政・議会の改革等に真正面から取り組まなければならないと肝に銘じています。

さて、6月28日の本会議場にて、神戸市長より神戸市監査委員に推挙され、全会一致で承認されました。

今後は、「神戸市民の生活が第一」「神戸市民の皆さんの血税を1円たりとも無駄にしない」との決意のもと、行政へのチェック機能を高めて、監査委員を務めあげたいと願っています。どうぞよろしくお願い致します。

仙台市へ災害ボランティアに行ってきました。

6月5日の日曜日から1週間仙台市に入り、災害ボランティアとして、被災者の皆さんの家屋の泥の排出のお手伝いをさせていただきました。

災害ボランティア最後の日。お天気もなんとか持って、仙台での奉仕作業も今日で終わりとなるとさみしい気分です。今日の仙台津波災害ボランティアセンターでの受付での順番は、2番目でした。いつも早く行っていたので、常連のリーダーのみなさんとも親しくさせていただき、いろいろとお話をお聞きすることができました。元気に活動するボランティアのみなさんには頭が下がる思いです。これからも頑張りたいと願うばかりです。

さて、今日のボランティアは、側溝の汚泥の排出作業でしたが、暗渠の泥だしで、超ハードな作業でした。



私の災害ボランティア最終日には、きつい作業でした。私から志願して、希望して行った作業でしたので、文句は言えません。誤解の無いように伝えなければなりません。仙台でのボランティア作業には、いろいろな作業があります。基本は、市民のみなさんからの依頼があつてのことですが、家具の移動やガレキの片付け、避難所の清掃活動、おばあちゃんの話相手、写真などの泥取り・整理作業、等いろいろな作業があります。力仕事だけではなく、女性やベテランの人も必要とされています。少しずつですが、被災者のみなさんからのニーズは減ってきているようですが、ボランティアを必要とするニーズは、いっぱいあります。これから暑い夏を迎え、作業環境は厳しくなりますが、人海戦術で頑張れば乗り越えられると思います。一人でも多くのボランティアのみなさんが、「災害現場でボランティアする」この気持ちが、大事だと思います。たかが1週間のボランティアで生意気なことを言っていますが、多くのボランティアさんが、東北へ行ってほしいと願っています。

畑の中に転がっている松の樹や車、ゴミなどの撤去には、膨大な時間と人力が必要だと思います。まだまだ、ボランティアは必要とされてくると思います。震災から4ヶ月が経ちましたが、災害現場では、未だに松の大木が田んぼや畑にゴロゴロと転がっています。乗用車も無残な形であの当時のまま横たわっています。未だ手つかずの状態です。一刻も早い、復旧・復興が望まれます。スピードが要求されています。政治がその責を果たしていないことが悔やまれます。

がんばろう! 東北! がんばろう! 日本!

詳細は「おーいブログ」をご覧ください。

上記写真は、仙台での災害ボランティアでは、写真撮影が禁止されていたので、7月14日石巻市に吉川宮城県議と山口石巻市議の案内で、災害現場調査に入った際の写真を掲載しています。がんばろう石巻の看板の下には、「復興するぞ!」と白い大きな文字がペンキで書かれていました。
撮影：大井としひろ

